

平成30年度 公益財団法人柿衛文庫事業計画(案)

平成30年4月 1日から

平成31年3月31日まで

1 展示事業

展覧会種別	展覧会名称・概要	期 間
(1)特別展	<p>□芭蕉の手紙</p> <p>これまで柿衛文庫では、開館1周年記念の「芭蕉とその周辺」(昭和60年)をはじめ、「旅と芭蕉」(平成11年)、「芭蕉—30年間の新出作品を中心に」(平成26年)、「歩く詩人—ワーズワスと芭蕉」(平成28年)等、さまざまな角度から芭蕉を取り上げてきた。本展は、柿衛文庫の特別展としては初の試みとなる、芭蕉の手紙を主軸に据えた展覧会である。芭蕉の筆蹟研究の第一人者として、文部大臣賞を受賞した『芭蕉の筆蹟』(昭和43年)の著書もある柿衛文庫の創設者岡田利兵衛は、はやくから研究対象として手紙に注目し、短冊や懐紙等の「鑑賞文字」とは違い、「実用の文字」で書かれた手紙には筆者の飾らぬ人間性が現れているとして、手紙の研究にも重きを置いた。手紙を通して、芭蕉の人となりと風雅を明らかにし、芭蕉への理解を深める展示としたい。なお、平成31年度には特別展「蕪村の手紙」を予定している。両展を合わせ見ること、江戸時代を代表する二大俳人の個性を浮き彫りにするものとして。</p>	<p>10月6日(土)</p> <p>↓</p> <p>11月11日(日)</p> <p>32日</p>
(2)特別展	<p>□どうぶつ俳句の森</p> <p>私たちはさまざまな動物たちとともに生きています。動物の姿に季節を感じ、鳴き声に耳を傾け、その存在は身近にあります。俳諧・俳句を中心とする文学作品において、人々がどのように動物たちを詠み、描いてきたのか。さまざまな作品を通じて、人々の日常のなかの動物たちの存在をあらためて感じられる展覧会にしたい。</p>	<p>11月17日(土)</p> <p>↓</p> <p>12月24日(月・祝)</p> <p>33日</p>
(3)小企画展	<p>①手紙シリーズⅤ 松永貞徳とその周辺</p> <p>館蔵の書簡資料の調査研究の成果を展観するシリーズの第五弾。 今回は近世俳諧の基礎を築いた松永貞徳の幅広い活動を紹介します。</p> <p>② 五感で楽しむ俳句</p> <p>月の光、虫の音、鳥の羽、旬の野菜、花の香り・・・人間が持つ五つの感覚(視覚、聴覚、触覚、味覚、臭覚)に訴えかける句を楽しんでいただく。</p> <p>③ 伊丹と近代の俳人たち</p> <p>高浜虚子、河東碧梧桐らが伊丹を訪れたときに詠んだ俳句や、松瀬青々、青木月斗などが行なった墨染寺での鬼貫忌などを紹介します。</p> <p>④ 桂信子賞創設10周年記念 桂信子賞の女性俳人たち</p> <p>平成21年に戦後俳句を代表する女性俳人桂信子を顕彰し、女性俳人の活動の更なる発展を願い創設した桂信子賞は、本年度で10回目をむかえます。桂信子賞創設10周年を記念し、桂信子と選考委員また過去の受賞者たちの作品などを紹介します。</p>	<p>4月7日(土)ー6月10日(日) 51日 ただし、5月21日～26日は休み</p> <p>6月16日(土)ー7月29日(日) 38日</p> <p>8月11日(土・祝)ー9月24日(月・祝) 39日</p> <p>1月12日(土)ー2月24日(日) 38日</p>

2 調査研究事業

- (1) 特別展・企画展のための資料調査研究
 (2) 伊丹市内外における資料調査研究
 (3) 『柿衛文庫目録 第3篇』刊行のための調査研究(書冊篇と短冊篇は刊行済、軸物や手紙など、その他資料の整理)
 (4) 寄贈資料の点検・整理
 (5) 俳諧・俳句に関するレファレンス事項についての調査・研究

3 書籍刊行事業

- (1) 『芭蕉の手紙』図録 発行部数 700部
 (2) 『どうぶつ俳句の森』図録 発行部数 700部

4 普及教育事業

(1) かきもり文化カレッジ

	講座名・内容	講師名	講座日	受講料
専門コース	【特別展関連講座】		各回とも午後2時～3時30分	
	① 芭蕉の手紙	神戸大学名誉教授 堀 信夫氏	10月19日(金)	各回とも 一般 1,500円
	② (調整中)	(交渉中)	月 日(調整中)	大高生 1,000円
	③ (調整中)	(交渉中)	月 日(調整中)	友の会 500円
	④ 俳句のどうぶつたち	俳人・佛教大学名誉教授 坪内 稔典氏	12月 1日	
講読コース	芭蕉俳論の原点『葛の松原』を読む	神戸大学名誉教授 堀 信夫氏	毎月第4土曜日(年10回) 午前10時30分～12時	一般1回1,800円 一括15,000円 友の会1回1,000円 一括10,000円
鑑賞コース	①直筆で楽しむー花鳥風月・春	柿衛文庫館長 岡田 麗	第4火曜日(年5回) 午後1時30分～3時	一般1回1,500円 一括5,000円 友の会1回 500円 一括2,500円

俳句コース		「鶴」同人 大石悦子氏	毎月第3火曜日(年10回) 午後1時30分～4時	一般 一括10,000円 友の会 一括 5,000円
男の句会 コース		「山茶花」主宰 三村純也氏	毎月第3土曜日(年10回) 午前10時30分～12時	一般1回1,500円 一括10,000円 友の会1回 500円 一括 5,000円
研究コース	坪内稔典とたどる岡田柿衛翁の生涯	俳人 坪内稔典氏 柿衛文庫館長 岡田麗	毎月第1金曜日(年10回) 午後1時30分～3時	無料(要資料代)

(2)特別記念講演会

	講座名	講師名	日時	受講料
① 特別展 記念講演会	芭蕉と『撰集抄』	国文学者・神奈川大学名誉教授 復本一郎氏	10月13日(土) 午後2時～3時30分	要観覧券
② 特別展 記念講演会	(調整中)	(交渉中)	月日(調整中) 午後2時～3時30分	一般 500円 大高生200円

(3)第28回鬼貫頭彰俳句大会

日時	選者(当日句会・表彰・選評)
8月4日(土) 午後1時30分～	現代俳句協会 宇多喜代子氏 日本伝統俳句協会 稲畑廣太郎氏 俳人協会 大石悦子氏

(4)也雲軒事業

①第28回鬼貫頭彰俳句(小学校・中学校・高等学校の部)

選者	也雲軒塾頭 坪内稔典氏、伊丹市内国語科担当教諭
募集	伊丹市内外の各学校を通じて募集
句集	入選句のみ掲載
表彰式	伊丹アイフォニックホール 8月17日(金) 午後1時30分～

②俳句と遊ぼう

色紙制作/色紙作品展 8月18日(土)/8月19日(日)

③第15回鬼貫青春俳句大賞 全国的な新人(15～30歳)の登竜門 柿衛文庫開館20周年を記念して創設

選者	也雲軒塾頭 坪内稔典氏、日本伝統俳句協会 稲畑廣太郎氏、詩人 山本純子氏、伊丹青年会議所、柿衛文庫
選考及び	12月15日(土)午後2時
表彰式	公開選考会の後、表彰式 大賞句は俳句総合誌『俳句』に掲載

④ことばを考える講座

各界のユニークで著名な人材を招いて、「ことば」について多彩な方面から考える講座

⑤俳句ラゴ 49歳以下を対象にした若い世代の句会 毎月第2日曜日(年10回)

5 柿衛賞事業

第27回 柿衛賞

発表・表彰	6月3日(日) 授賞式・受賞記念講演会
呈茶	山中宗鹿社中

6 俳句資料室事業

(1)第10回桂信子賞

決定	11月中旬
表彰	平成31年1月27日(日)
講演会	受賞者記念講演

(2)俳句朗読会/対談 月 日(調整中)

朗読	清水絃治氏
対談	(調整中)

(3)俳句資料室の運営

俳句資料室におけるレファレンス、資料整理・充実

(4)柿衛文庫《日本のくらしをきく》シリーズ(年4回予定 調整中)

7 その他の事業

(1) 資料の閲覧・複写・出品・撮影・掲載に関する事業

(2) 友の会に関する事業

①友の会ニュースの発行 年1回

②俳跡を訪ねる旅 年1回

③観柿会 11月3日(土)

(3)第17回正岡子規記念伊丹野球大会

(4)他施設・他団体との関係等

①第16回ひなかざり@伊丹郷町館

②講座・講演会等への職員の講師派遣